



初霜の候、ますますご盛栄のことと思います。保護者の皆様には本校の教育活動や家庭での学習活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。まもなく冬休みをむかえますが、やるべきことができるがしっかりとできる有意義な冬休みにしてほしいです。



## ◇◇「佐賀県学力・学習状況調査」を実施しました◇◇



先日11月30日と12月1日の2日間で、4年生から6年生までの子ども達を対象に、令和4年度の佐賀県学力学習状況調査が行われました。4、5年生は国語と算数の2教科、6年生は国語算数に加えて理科と社会の4教科でした。左の写真は6年生が調査を受けている様子です。どの教科も単純な問題は少なく、生活経験や体験したことに学習した内容が含まれているような問題や解き方や考え方を説明したりする

ような問題が多くみられました。つまり、そういう力がこれからは求められていくということです。結果は1月に分かりますが、「鉄は熱いうちに打て」という言葉もありますようにできるだけ早めに子ども達と一緒にやり直し、解きなおしをしたいと考えています。普段から行っているテストもそうですが、「解くまで」や「解いている時」も大事ですし、さらに『解いた後』にそれらを使ってどんな学習（復習）をするかがより大切になります。問題用紙が戻ってきたら、それらを使ってうまく解けなかった問題を中心にしっかりと復習をしてほしいと思います。

新6年になる現5年は、来年4月になってすぐ「全国学力・学習状況調査」を受けまし、新中1になる現6年も中学校に入ってすぐテストがあります。そう考えると今のうちからしっかりと学習内容を復習して定着させることが大切です。もうすぐ冬休みになりますが、この時期をうまく使ってほしいと思います。また、1月には1、2、3年生が国語と算数の内容が定着しているかどうかを確かめるための「CRT 学力テスト」を受けます。こちらもがんばりましょう！

## ◇◇漢字一文字で表そう！～「漢字一文字でいい感じ！」～◇◇

毎年12月になると京都の清水寺で「今年の漢字」の発表があります。今年は12日（月）に発表がありました。昨年2021年は「金」という漢字でした。今年2022年は、「戦」でした。このように漢字一文字で何かを表すと意外な考え表れておもしろいものです。そこで、毎年複数の学年の子ども達に「おもしろ国語」として漢字一文字で表現することに取り組ませています。お題は「①自分自身、②自分のクラス、③担任の先生、④諸北の〇〇先生、⑤来年の抱負」の5つです。保護者の方にも見ていただきたく、サイン（コメント）をお願いする欄がありました。ご協力ありがとうございました。書かれたプリントには子どもらしい表現や考え、理由があり、どれも納得させられます。この取り組みのように、「何かについて理由を挙げながら自分の考えを説明する力」はぐんぐん鍛えていきたい力です。どんな学習にも応用できる力です！

以下、いくつかおもしろいものを紹介したいと思います。

四年生	①「自分」のことを漢字一文字で表すとしたら？理由も書こう。	②自分のクラスのことを漢字一文字で表すとしたら？理由も書こう。
	<p>奴方</p> <p>漢字テスト、はたきさん点かどおきように努力したからです。ピラなどのならいにも毎日練習してあげるよになつたからです。</p>	<p>米</p> <p>最近、みんなドッジボールや鬼ごっこをしてみんな一緒に遊んでいるからです。それにみんな優しく、遊ぶからです。</p>
五年生	⑤来年がんばりたいことや、やってみたいこと、楽しみにしていることを漢字一文字で表すとしたら？理由も書こう。	②自分のクラスのことを漢字一文字で表すとしたら？理由も書こう。
	<p>挑</p> <p>私が来年がんばりたいことは何事にもあきらめずに挑戦することです。今年あきらめるとか多分たて来年あきらめたい挑戦したいです。</p>	<p>十加</p> <p>グループ活動かときなどみんなと協力しながらみんなががんばっているから。</p>
六年生	③(山崎)先生のことを漢字一文字で表すとしたら？理由も書こう。	⑤来年がんばりたいことや、やってみたいこと、楽しみにしていることを漢字一文字で表すとしたら？理由も書こう。
	<p>中</p> <p>中か料理が大女子まじり給食にコーナマがどうかがあると美味しそうに食べています。</p>	<p>仲</p> <p>来年は中学校に行くので、南小の人と同じになるので南小の人と仲をよめたいから、仲の深さになりました。</p>

## ◇◇子ども達の字や学習内容に目を向けてみましょう◇◇

子ども達の連絡帳や学習プリントへのサインやコメントを毎日のようにしていただいていることと思います。お忙しい中だとは思いますが、本当にありがとうございます。さて、その際に子ども達書いている字や子ども達がどんな内容を学習しているか、じっくりご覧になっていますか。



算数少人数 TT 担当の松永は各学年の算数ノートを見ることが多いですが、中に子ども達の字は「この字で大丈夫？」と心配になるものもあります。毎回、習字のように丁寧に書きなさいとまでは言いませんが、少なくとも担任の先生や家の方に見せることを考えながら、人に読んでもらうことを意識して文字を書いてほしいです。例えば、漢字などは丁寧に書けば丁寧に書いた字を覚えますし、雑に書いた字は雑に覚えてしまうこととなります。つまり、どんな教科でも丁寧に字で整理して書くと、内容の定着も早くて確実ですし、雑に書いてしまうと雑にしか内容が捉えることができないのです。整理してノートに書く子は、整理して頭に入っていきます。

そのためにも、子ども達には自分達の字を一度ふり返ってもらいたいです。1ついい方法があります。それは4月の頃のノートを開いてみることです。その学年のスタートの頃の字と今の字を比べてみます。丁寧に書いていけば、それは意識して丁寧に書くようになっていく成長の証です。**逆に変わっていない、むしろ悪くなっていれば、それは一大事！**早く改めないといけません。学年が進むにつれて、先日実施した学力学習状況調査のような学力テストや大事なプリント(例えば、将来で言うと「願書」など…)を書くことが増えます。その時に読めないような字では、最終的には本人が一番困ることとなります。学校でも場面を意識させて文字を書かせていきますので、ご家庭でも宿題などを行っている時には書いている字を見て一声かけてあげてください。



合わせて、宿題を見る時には子ども達がどんな内容の学習をしているのかもご覧ください。学年が上がるにつれて内容も複雑になりますが、以前の『ぐんぐん』でも書きましたように、学習内容は下の学年からつながっています。もしも、苦手としているような内容であれば、「前の学年に戻って復習してみたら？」とアドバイスしてください。子どもの得意なことや苦手なこともぜひ知っておいてあげてほしいと思います。それだけでも子ども達には励みになると思います。一緒に問題を解いてみることもおすすめします。